

「シーナリーの家」

～別府の温泉街を一望する別荘のような住宅～



道路からの全景 台形の敷地形状を生かした配置・平面計画
 向かって左手はLDKと吹抜けを通し見下ろす2Fテラス、右手の平屋部は寝室、浴室その間をデスクスペースでつなぐ



別府市街と扇山の景色を取込む木製サッシ
 内外はLDとウッドデッキでつながる



LDKとプライベート空間をつなげるデスクスペース
 背面は一人読書のできるこもり室



十和田石とヒノキ板で作られた浴室
 温泉に浸かりながら別府市街と空を眺めることができる

【Concept】

本建物は別府市の高台に位置し、南西側は別府市街を一望できる立地である。
 台形の敷地形状を生かし、建物の内部と外部が有機的につながるよう3つのゾーンに分割して計画を行った。
 北側の玄関より入ってパブリック性の高いLDK空間を大屋根の形状に合せ2階テラスへと伸びやかにつながる空間になるよう計画。

南側はプライベート空間である寝室と浴室を配置しその間を別府市街を一望できるデスクスペースでつなげた。
 建物を道路から離すことで通行者の視線との干渉を避けること、周辺のまちなみに配慮した。
 建築が街並みの風景となることを意識して住宅建築を進めている。

【Data】

所在 別府市大観山
 構造 木造2階建て
 床面積 1F 99.31 m²
 2F 35.19 m²
 計 134.50 m²
 敷地面積 354.49 m²

竣工 2019.9
 設計 幸野成一 + シーナリーハウス
 施工 シーナリーハウス
 造園 荻野景観設計株式会社

大分の風景をつくる